

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>

No. 205

メールアドレス chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

2016（平成28）年12月22日

幅広く基礎を学ぶ

校長 松永哲郎

まもなく平成28年が終わろうとしています。児童はこの1年で学年がひとつ上がり、心身ともに大きく成長しました。

今年は、リオデジャネイロ・オリンピックがあり、多くの日本人選手が活躍したことが、もうずっと前のようです。

ところで先日、新潟大学教授でこの3月に退官された五十嵐久人先生のお話をお聞きする機会を得ました。

知っている方も多いと思いますが、五十嵐先生は1976年モントリオールオリンピックで体操競技男子団体金メダルを獲得したメンバーでした。実は、団体メンバーとしては補欠で参加していましたが、エースの笠松茂選手が虫垂炎にかかってしまい、急にメンバー入りしての金メダルでした。補欠といえども、日本代表のメンバーにいたのですから、五十嵐先生も相当な努力をしていたことはもちろんです。最終種目の鉄棒の演技は圧巻でした。

しかし人に倍する努力をして一番高い表彰台に立った時は、うれしさや役目を果たしたという安堵感で一杯だったそうですが、後になって冷静になって考えると「そこには何もなかった」とおっしゃるのです。そして「実際に選手をやめた後、どう生きるかを考え、行動していくことの方が大変でした。」と振り返っておられました。五十嵐先生の転機のきっかけとなったのは、英語に興味をもち、留学を決めたことだそうです。そしてそれが現在までつながっているのです。

「オリンピック選手は、競技に人生のすべてをかけていると言われますが、本当はそうじゃない。人生の一部がオリンピックなんです。」と最後に言われました。

小さな頃から競技一筋に励んで金メダルをとっても、それだけではだめだと言いたいのです。そのためには、競技と関係ないことでも幅広く学ばなければならないということだと思います。

心身共に大きく成長する小中学校の時代はまさに、人生の土台となる基礎を学ぶ時期です。そのような児童には、「知・徳・体」のバランスがとれた成長を促していきたいと考えています。

児童、保護者、地域の皆様にとって、来る新しい年が希望あふれる1年になりますようお祈りいたします。



平成 28 年度

第 2 回新井中央小学校区 CS (コミュニティ・スクール) 運営協議会報告

日 時：12 月 14 日 18:30～19:45

会 場：新井中央小学校コミュニティ・ルーム

コミュニティ・フェスティバル (以下、CF) の振り返り、及び、次年度の学校運営の方針策定にあたって、必要な意見交換を目的に行われました。以下、その概要を報告します。

*** 協議の概要 ***

【開会のあいさつ】

野口昭雄会長

【議題1 CF の振り返り】

担当職員

- 地域作品展は町内会長・区長の御協力もいただき、100 点を超える作品が集まった。また、物品運搬、準備等も円滑に進められた。
- 未就学児及びその保護者の方が大勢参加され、校区挙げての行事にふさわしいものとなった。
 - ・ 体験活動の提案時期を 5 月には行った方が良い。また、地域作品展の出品依頼は、町内名を記載できる名札を添えて、9 月初旬に配布したい。
 - ・ CS 委員、町内会長等の高齢化があり、仕事内容によっては PTA からの力添えが望ましい。
 - ・ 午後の体験活動を各町内で担当するという提案もあった。
 - ・ 事務局長の負担が大きい。人的補強も検討していく。

【議題2 今年度の教育活動及び次年度の学校運営方針、CS 学校運営協議会について】

1 校長説明

学校の運営方針、教育課程、学校運営協議会の在り方について、皆様から御意見をいただき、第 3 回の定例会につなぎたい。

(1) 学校の運営方針について

各種アンケートや様々な会合で児童、保護者、地域住民からの意見を聞き、教育活動の評価を行う。評価結果及びそれに基づく次年度の運営方針について、第 3 回定例会で報告する。現段階までの学校の教育活動の経緯及び成果に対して御意見をいただき、次年度の運営方針作成に生かしていく。

- ① 心づくり～「学校は楽しいか」との設問に 96.8%の児童が肯定的評価をしている。挨拶については、肯定的評価をする児童が 84.3%であるのに対し、保護者は 74.8%であり、まだ、課題が見られる。
- ② 学びづくり～「授業がよく分かるか」との設問に 95.1%の児童が肯定的評価をしている。その一方、「話す力」に肯定的評価をする保護者は 72.9%と少ない。「全国学力・学習状況調査」の結果、国語・算数ともに全国、本県よりも当校の平均正答率が高い。しかし、個々の児童の結果を見ると課題もある。
- ③ 体づくり～児童の朝食の摂食率は高いが、1 日当たりのメディアの使用時間が 3 時間以上の児童も多い。SNS を使用する児童もいる。SNS がいじめを誘発する要因の一つであるともいわれている。SNS の適切な活用法も含めたメディア利用にかかわる児童への指導及び保護者への啓発が必要。

(2) 教育課程について

今年度の学校の運営方針及び教育活動が児童及び地域の実態と合った適切なものであったか、御意見をいただきたい。また、個々の学校行事等の教育活動についても御意見をいただきたい。

地域住民からはクラブ活動や生活科・総合的な学習の時間の指導、教育振興会からは金銭的な援助や地域の安全面について市との交渉をいただいている。更に、今年度 3 年生がケアハウス新井の利用者との交流を始めた。このような、学校の地域に対する貢献、といった点についても御意見をいただきたい。

(3) 学校運営協議会について

妙高市では、今年度2校、次年度以降更に多くの学校がCSを立ち上げる。これまで行ってきた活動を生かしながら無理のない範囲でCSを立ち上げるのが妙高型CSである。今後もCSを継続・発展させるために、学校運営協議会の活動や位置付けについて考え続けることが大切である。

2 部会協議

[学びの輪]

(報告:竹内直一委員)

(ア) 学校の運営方針について

- ・ 挨拶しない児童にも大人が声を掛け続け、児童の心の変化を待つという姿勢が必要。指導を継続してほしい。挨拶が習慣になるには、家庭で挨拶が生活習慣として定着しているかが重要。
- ・ 学力水準が高いことに驚いている。
- ・ 放課後/パワーアップ教室の学習ボランティア不足は、学習内容や教え方の変化に対する不安やためらいも原因になっているのではないか。

(イ) 教育課程について

- ・ 学校評価結果に基づいて、次年度の教育課程を考えてほしい。

(ウ) 学校運営協議会について

- ・ 学校運営協議会の年間の方針や役割が委員全体に浸透する必要がある。部長による協議、教員との協議を経て、各部の役割や活動の方向の共通理解を図る。その上で、部会を行うことで、学校運営協議会の目的や方針が委員全体で共有できる。

[交流の輪]

(報告:後藤純二委員)

(ア) 学校の運営方針について(特になし)

(イ) 教育課程について

- ・ 従来の教育活動の見直しにより、個々の児童の個性を生かす場が増えることを期待する。
- ・ PTA 会員は、依頼があれば学校行事等への協力をいとわない。限られた時間での密度の濃い作業を依頼することで、各自が責任感をもって意欲的に協力することができると考える。
- ・ 地域貢献については、地域から要請があった時に学校がすぐに動ける体制をつくることが好ましい。学校の意向が前面に出ると、本来の貢献ではなくなるのではないか。

(ウ) 学校運営協議会について

- ・ 既存の組織を生かしながら学校運営協議会に多くの人の意見を反映させたい。意見があれば、PTA 総務委員経由で、学校運営協議会で取り上げられることを会員(保護者)に伝えたい。

[安心・安全、地域活動の輪]

(報告:野口昭雄会長)

(ア) 学校の運営方針について

- ・ 学校側の思いが実現されるよう、地域を挙げて支援していくことを確認した。

(イ) 教育課程について

- ・ 地域の見守り隊の活動事例について話が出された。
- ・ 保護者に見守り隊をお願いすることは難しい。高齢者に積極的に依頼するとよい。

(ウ) 学校運営協議会について(特になし)

【その他】 第3回学校運営協議会の日程等について

【閉会のあいさつ】

和泉伸一郎副会長

第2回人権教育、 同和教育を学ぶ会

12月2日(金)にゲストティーチャーを招き、第2回「人権教育、同和教育を学ぶ会」が開催されました。本当にたくさんの参観者の見守る中、差別をなくすために自分は何ができるのか、6年生の真剣な態度と、深く考えられた主張が印象的な「学ぶ会」になりました。



安全で有意義な冬休みを！

いよいよ、子どもたちが楽しみにしていた冬休みです。学校では、「冬休みのきまり」をもとに各学級で指導をしました。御家庭や地域でも、是非、御協力をお願いいたします。

- お子さんの実態をよく見て、話をよく聞き、冬休みの過ごし方を一緒に考えましょう。
- 自分で計画を立て自主的・自律的に生活できるように、家族で見守りましょう。
- 家庭における役割を自覚し、その役割を果たすことによって家族の一員として力を合わせ、生活をよりよいものにしていこうとする態度を育てましょう。
- 地域の行事に進んで参加しながら、地域を愛する心や社会性が育つように子どもたちを見守りましょう。気持ちのよいあいさつは、まず家庭からお願いします。

冬季の安全確保について

(1)危険箇所の確認

降雪期になり、雪道の安全な歩行、屋根雪の落雪や流雪溝、排雪の山等の危険箇所への注意など、事故が起こらないよう、危ない場所について御家庭でも確認をお願いします。

(2)豪雪による臨時休校などの措置

荒天や大雪の際、児童の登下校の安全確保のために、急遽、臨時休校、始業時間を遅らせる、午後の授業カット、等の措置をとる場合があります。御理解と御協力をお願いします。

- 緊急対応について、PTAメールでお知らせする場合があります。PTAメールが確実に受けとれるよう、設定をお願いします。

1月の予定

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1(日) 元旦 | 17(火) 6年生スキー教室(杉の原スキー場) |
| 9(月) 成人の日 | 18(水) なかよし遊び |
| 10(火) 3学期始業式 | 19(木) 児童朝会 |
| 地域子ども会 | 20(水) 5年生スキー教室(杉の原スキー場) |
| 集団下校 11:45 諸費引き落とし日 | 25(水) 児童会代表委員会 |
| 11(火) 委員会活動 | 26(木) 5年生スキー教室(杉の原スキー場) |
| 12(水) 全校 SSE 4年みどりの学習 | 27(金) 4年生スキー教室(池の平スキー場) |
| 13(金) 6年生スキー教室(杉の原スキー場) | 30(月) 学力検査(国語、理科) |
| 16(月) 給食週間 ~20日 | 31(火) 学力検査(算数、社会) |

